



# TEF News

Vol.22  
2017年4月号

NPO 法人 つくば環境フォーラム  
代表: 田中ひとみ  
住所: 〒300-2622 つくば市要 320-2  
TEL/FAX: 029-879-8810  
<http://tef298.sakura.ne.jp/>  
E-mail: [tef298@lime.ocn.ne.jp](mailto:tef298@lime.ocn.ne.jp)

2016年度の活動を無事終了しました。皆様のご参加ご協力に感謝します。後半(10~3月)の活動をご報告いたします。



## 葛城地区大規模緑地里山クラブ

※茨城県委託事業



## オオムラサキの棲む里山づくり 森づくりボランティア

里山林の再生整備を進める葛城大規模緑地(県有地)では、松林の間伐、松枯れ防止対策、耐性アカマツ苗の補植を行い、気持ちよい松林に再生できました。さらに「森のボランティア」で林内整理や広葉樹の苗の植樹を行い、3月には北のエリアに300本の苗木も植えました。

私有地の保健保安林では、学生たちも参加して森ボラを毎月実施、ヒノキ林の間伐、枝打ち、落ち葉かき、枯松の除去等を行いました。オオムラサキ越冬幼虫調査も実施し、今年も幼虫を確認しました。



松林内の刈草・枝等除去作業 3月マイツリー植樹活動に120名が参加

保健保安林の枝打ち作業

オオムラサキの越冬幼虫



## 里山ワンダーランド探検隊・自然あそび塾



## しぜんっこくらぶinゆかりの森

「残された里山を子どもたちの体験の場に！」を合言葉に、大規模緑地に隣接する保健保安林で、親子対象の里山ワンダーランド探検隊、小学生対象の自然あそび塾の2つを実施しました。間伐材を使った秘密基地づくりや、落ち葉で作ったジャンプ台など、森ならではの体験やあそびを行いました。

幼児親子対象の自然体験教室を、毎月30組×2クラス実施しています。10月秋の森の宝探し、11月森でフェスティバル、12月森のクリスマス、1月竹筒でご飯炊き&どんどこやき、2月七草がゆ、3月よもぎ団子づくりを実施。詳細は、ボランティア「殻斗」のブログ <http://kakuto-tef.blogspot.jp/>参照。



竹、落ち葉、枯れ木など森の素材をふんだんに使った贅沢なあそび

秋の森でフェスティバル!

よもぎ団子をつくりました



## 生きものと共存する米づくり

自然豊かな谷津田の存続をめざす「すそみの田んぼ」では、10/2 稲刈り、10/29 収穫祭を行いました。9月の鉄砲水で畔が大きく崩れたので、冬の間に大規模な修復工事を実施しました。多くの方々との協力で、畔を堅固にすることができました。



## 筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり

谷津田周辺の森では、大きくなりすぎた木を切り雑木林の再生を図っています。切った木は薪として活用することで資源の循環を図ります。3/11 積水化学グループの皆さん57名が森の手入れと植樹の活動に参加しました。



稲刈り (田んぼ体験付きオーナー)

畔の修復工事

企業の皆さんの参加協力で森づくり

薪クラブも活躍

## ter 筑波山ファンクラブ

筑波山の自然を学び見守る活動を継続しています。毎回の観察記録は「筑波山便り」にまとめ、登録メンバー(110名)に配布しています。10/10 筑波山自然展とブナ結実調査、11/27 加波山・紅葉観察、12/18 つくし湖～薬王院野鳥観察、1/22 菅生沼野焼き協力、2/19 筑波山麓を歩く、3/26(順延 4/2)宝篋山・スマレ観察会を実施。山麓の太陽光発電所の状況も視察しました。



ブナの実 満開の梅の前で(2月) 筑波山麓の太陽光発電所

## ter 筑波山麓グリーンツーリズム

筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会のメンバーとして、都市と農村の交流事業や、筑波山麓地域情報紙「すそみるく」の編集、筑波山麓秋祭りへの参加などを行っています。11/5～6の2日間、つくば道沿いの農家の庭先で「すそみ茶屋」を開店。おいしいコーヒーやスイーツ・筑波山の情報等の提供、庭先コンサートなど実施。



農家の蔵の前で茶屋開店 庭先コンサート

## ter 筑波山ビジターセンター事業

ビジターセンターのない筑波山において、様々な時期にいろいろな場所で自然を案内する事業を、つくば市観光物産課と試行的に実施しています。今年度は、紅葉の時期である11/3～13に、筑波山観光案内所を会場に実施し2800名を超える来場者がありました。野外ブースで配布した「筑波山自然見どころマップ」が好評でした。マップの配布を通して、筑波山の自然の魅力が広く紹介できました。 ※つくば市委託事業



観光案内所内に展示を設置 バス停前のマップ配布場所

## ter 筑波山自然環境教育事業

つくば市環境課と協働で筑波山及びそのつながりのある地域の自然環境を学習する事業を年間4回実施しています。今年度4回の活動を行い、後半では筑波山のすそのをめぐる学習活動を行いました。つくば市環境サポーターの皆さんが参加しました。 ※つくば市委託事業

第4回 11/23 筑波山すそのめぐり  
四季の道～つくし湖～ミカン園



「筑波山四季の道」で紅葉や里山の学習 逆転層を学びみかん狩り

## ter 筑波山麓自然学校(筑波ふれあいの里)

筑波山麓の自然や里山の文化を学ぶ講座を、年間11回開講しています。自然観察、農体験、生き物に触れ合う活動など、親子で楽しく学ぶプログラム、後半5回を実施しました。 ※つくば市委託事業  
11/19 サツマイモ収穫・森探検(45名)、12/11 焚き火とクリスマスラフト(60名)、1/14 お餅つきとならせ餅(54名)、2/11 100キロのみそづくり(51名)、3/18 食べられる野草を探そう(63名)

## ter つくば里山たのしみ隊(高崎自然の森)

つくば市農業課と協働で高崎自然の森を活用する体験事業を年5回実施しています。後半は、以下、2回の活動を行いました。 ※つくば市委託事業  
11/12 秋の森たんけん・落ち葉アート(79名)  
12/3 森の手入れ体験・クリスマスオブジェ作り(104名)



餅つきをしてならせ餅づくり 食べられる野草探し 野草の天ぷら 落ち葉のアート作品 クリスマスオブジェづくり

### 事務局より

10月に筑波大学の学生実習でセンサーカメラが葛城の森とすそみの田んぼに設置され、1か月間動物調査が行なわれました。葛城ではノウサギやハクビシン等合計11回観測されたのに対し、すそみの田んぼではイノシシ、ハクビシン、タヌキ、キツネ、アナグマ等合計153回の観測があり、生き物の豊かさが実感されました。また、2団体の視察を受け入れました。